

長野県社会福祉士会・四半世紀 No.4 (2008年～)

2008年

- 4月6日 ○社会福祉士法制定20周年公開講座
 高齢者と障害者の財産と生活を守る
 ～成年後見制度～
 講師：神田織音氏

『高齢者と障害者の財産と生活を守る ～成年後見活用法～』報告

去る4月6日(日)、佐久勤労者福祉センターにおいて、『高齢者と障害者の財産と生活を守る～成年後見活用法～』と題し、社会福祉士制度制定20周年・法改正成立を記念した公開講座が行われました。佐久地区の社会福祉士を中心とし、昨年度立ち上げたメーリングリストも効果的に利用しながら数ヶ月前より準備をすすめてきました。また、少しでも多くの方にご参加いただければと、県本部の協力もいただきながら、様々な機関への広報活動も力を入れて行いました。



2009年

- 3月21日 ○第3回「長野県福祉まるごと学会」
 (講演、実践報告会)
 テーマ：「認知症に対する
 回想法の応用と課題」
 講師：黒川由紀子氏
 (上智大学・慶成会老年学研究所)

会長：関裕一(勤務先伊那市役所) 副会長：村岡裕、坂口功、内田宏明、大澤孝史

2010年

- 3月21日 ○第4回「福祉まるごと学会」(鼎談、実践報告会)
 テーマ：「生老病死」
 鼎談：高橋卓志氏、大熊由紀子氏、惣万佳代子氏
- 5月15日 ○第7回総会記念公開講座「成年後見講演」
 講師：神田織音氏

- 11月1日 ○事務局を県食糧会館ビル内に移転

2011年

- 3月11日 ○東日本大震災発生
 3月12日 ○栄村大震災発生 被災地救援支援活動の展開
 3月19日 ○第5回「福祉まるごと学会」(記録映画「あしかび」上映、実践報告会)
 会長：関裕一、副会長：坂口功、内田宏明、若林喜久雄、中村修

2012年

- 3月24日 ○総会「孤立死を見逃さない地域
 づくりに関する声明」を決議。
 孤立死防止プロジェクト立ち上げ
- 4月1日 ○長野県地域生活定着
 4月22日 ○支援センター設置(県委託)
 ○孤立死防止緊急電話相談

孤立死を見逃さない地域づくりに向け NHKや信濃毎日新聞で取り上げられています!

総会で『孤立死を見逃さない地域づくりに関する声明文』を決議

県外の孤立死の報道が相次いだことを受けて、孤立死ゼロプロジェクト3月11日に緊急に立ち上げ、3月24日の総会で声明文を決議しました。これまで、単身高齢者の「孤立死」の問題が多く取り上げられてきましたが、最近のケースは単身介護者や養育者のいる世帯で起きた「孤立死」であったことを強く受けとめる必要があります。こうした世帯は、当事者が自ら声をあげることでなく、家族はひとりでは届いていたり、届かなくていたりするため、行政や福祉サービスにつながりにくい状況があります。そして、地域の支援も「家族がいるから」という理由で見逃されやすく、結果として孤立死のリスクが潜在化してしまう状況が起きています。孤立死は、自らの地域にも発生し得る緊急性が高いものと捉え、「孤立死ゼロ(0)プロジェクト」として以下のことに取り組んでいきます。

- 実行委員会の設置
- 孤立死110番の実施
- 孤立死対応チームの設置及び派遣
- 孤立死の現状把握、原因分析及び防止策の検討
- 取り組みの評価・検証・啓発・報告

この取り組みは本会だけでなく、自治体や司法、医療、福祉関係者、更には地域関係者や地域住民などの協力、連携が不可欠です。また、会員一人ひとりの協力も必要となります。本取り組みについて、本会ホームページ(<http://nacsw.jp>)に詳細を掲載しますので、ご確認ください。 担当：孤立死ゼロプロジェクト

(3月11日 第1回 総会会議の様子)

- 5月19日 ○長野県社会福祉士会20周年記念式典・公開セミナー(長野県介護福祉士会と共催)
 記念講演：鎌田實(医師・作家・諏訪中央病院名誉院長)
 パネルディスカッション：阿部守一・長野県知事
 市川一宏・日本社会福祉士養成校協会副会長
 石橋真二・日本介護福祉士会長
 宮島 渡・アザレアンさなだ総合施設長